

交換・派遣・認定留学 帰国報告書

学部・学科 *

国際学部国際学科

留学先国名 *

ベルギー

留学先都市 *

ルーヴェン

留学先大学 *

UCLL

留学先所属学部

Digital Marketing

留学期間（〇年〇月～〇年〇月） *

2024年8月～2025年8月

学年（出発時）

3

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

2025 / 08 / 21

1.留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

ベルギー・ルーヴェンに位置するUCLLは、フランダース地域を代表する応用科学大学の一つです。ルーヴェンおよびリンブルフに複数のキャンパスがあります。

第一に、UCLLは「Living Campus」という理念を掲げており、学習の場にとどまらず、学生が安心して生活できるコミュニティづくりに力を入れています。キャンパス内には、講義室や実習室だけでなく、図書館、グループ学習スペース、カフェラウンジなどが整備されており、学習と生活が自然に結びつく環境が用意されています。

第二に、スポーツ・レクリエーション施設も充実している点が特徴です。体育館、クライミングウォール、屋外運動場に加え、近隣にはフィットネスセンターやプールもあり、学生は心身のバランスを保ちながら学習に取り組むことができますが、私のいたキャンパスではありませんでした。

第三に、インターンシップや産業界との共同研究を通じ、学生は実社会に直結したスキルを身につけることができます。また、国際的なプログラムも豊富であり、英語による授業も開講されているため、世界各国から留学生を受け入れています。

さらに、大学が位置するルーヴェンは学生都市としても知られ、自転車や公共交通機関での移動が容易で、緑豊かな環境と活気ある文化的生活が両立しています。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

UCLLでは語学面でのサポートがとても充実しており、安心して学ぶことができました。特に英語の授業はレベルが高く、最初は少し大変に感じましたが、その分力がついたと実感しています。実践的な内容が多く、将来にも役立つ学びになりました。

勉強面でのサポート

UCLLでは勉強面でのサポートもとても手厚く、分からないことがあれば先生方が丁寧に対応してくださいました。グループ学習がとても多く、他の生徒とお互い助け合って勉学に励むことができました。

精神面でのサポート

精神面でのサポートは正直あまりありませんでしたが、友達と過ごすことであまり気を張り過ぎずにいられました。

生活・住居面でのサポート

生活や住居面ではサポートがなく、自分で何とかしなければいけませんでした。

2.生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

ルーヴェンは学生都市で生徒の入れ替えが激しく、寮部屋の競争率が高いので必ず早めに連絡をするべきです。私が居た寮はWiFiがなかったり、2つのシャワーとトイレを男女混合8人でシェアし、2つの小さな冷蔵庫をシェアしたりで大変なので、寮を決める際は細かくチェックをするべきです。

(2) パソコンについて
PC の保有状況

- ☒ 日本から持参した
- ☐ 現地で購入した
- ☐ 保有しなかった

Wi-Fi の有無

- ☒ 有
- ☐ 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

特にありませんでした。

大学でのPCの使用可否

☒ 使用できた

☐ 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

パソコンを使ってはいけない授業はありましたが、基本的にはキャンパス内どこでも使用することができました。

(3) 医療について

Health Center（大学内施設として）の有無

☒ 有

☐ 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

ありません。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

ベルギーの銀行へ行き、必要書類が揃ってさえいればすぐに口座を作ることができました。ですが、口座をそのまま持つことはできないため、お金を換金し、帰国する前に閉じなければいけませんでした。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

寮はかなり古くお世辞でも綺麗とは言えないところでしたが、裸足や靴下のまま廊下に出たりキッチンで料理をしご飯を食べたりする生徒が沢山いてビックリしました。パーティーに行ったり、ビールを飲むカルチャーが日本よりも圧倒的に多いと思います。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

行いませんでした。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

学生都市でベルギー全体で見ても犯罪率はとても低く、留学生も現地の人達よりもいるので差別などの問題は全くありませんでした。自転車を盗む人は多いので絶対に鍵をするように心がけなければいけません。

3.後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

Google調べました。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

ヨーロッパで使えるアダプターは必須です。日本食が恋しくなるので持っていけるだけ持っていくべきだと思います。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

留学を通して最も大きな収穫は、世界中の人々と出会い、友人になることができたことだと思います。特にヨーロッパ各国から集まった学生と交流する中で、それぞれの文化や価値観に触れる機会が多くありました。お互いの違いを知り、時には驚きながらも学び合うことで、自分の視野がぐっと広がったと感じています。ただ勉強するだけでなく、日常の会話や一緒に過ごす時間の中で自然と国際感覚が身につき、これこそが留学ならではの一番の経験だったと思います。

語学力：

留学前一資格試験名称および点数（級）

英検準一級、IELTS6.5

留学後一資格試験名称および点数（級）

特に何も受けていません。

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

海外旅行中お金を盗まれたり、3人に囲まれ携帯を盗まれそうになったり、お金を騙し取られそうになったり、トラブルは少ないわけではありませんでした。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

少人数制でだいたい10人から30人程度でした。教授の成績評価はとても厳しく、いい成績はどの生徒にも渡さなかったり、平気でほとんどの人を落単させたりする教授もありました。学生のほとんどの人が真面目に授業中、課題、試験に取り組んでいました。試験がとても難しいのでかなり真剣に取り組まなければ好成绩どころか単位すら貰えません。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

ズームで行われる企業説明に参加し、書類選考をしたり、一次面接をズームで受けたりしました。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート

1ユーロ160円

(2) 航空運賃

片道10万円

(3) 住居費

住居費（月額）

350ユーロ

住居費（留学期間合計）

3500ユーロ

(4) 食費（月額）

200ユーロ

(5) 保険料

15万円

(6) その他

2000ユーロ

(7) 留学費用の合計

1,550,000円

5.その他 自由に記入してください。

履修登録をするのが本当に難しかったです。メールでサポートをしてくれる人はいますが、返信に時間がかかり履修登録期間内に満足のいく履修登録ができませんでした。予め取る授業を決めていたとしても、UCLLは授業合間の休み時間がないため、教室が離れていると必ず授業に遅れます。また、授業時間が丸かぶりの場合や、1,2時間被ることもあります。また、しょっちゅう先生の仕様に授業時間が変わり、他の授業と結局被ってしまいます。

このフォームは 近畿大学 職員用 (@itp.kindai.ac.jp) 内部で作成されました。

Google フォーム